

県単道路改良(幹線道路網整備)事業^{ふだごう} 札郷トンネル拡幅工事

受賞機関 千葉県君津地域整備センター上総出張所

事業概要

札郷隧道を含む県道市原天津小湊線は、県中央部の市原市より県南部の鴨川市へ至る地域に密着した重要な幹線道路である。

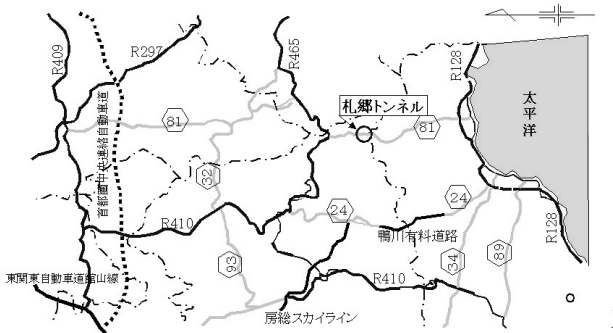
一方、札郷隧道は、明治35年に竣工した素掘りのトンネルであり、片側交互通行の一車線トンネル（H=3.0m、W=3.0m、L=136m）として、現在まで供用してきた。

当路線は、急峻な山岳部を通るため未整備区間が多いにも係わらず、行楽シーズン等には札郷隧道をネックとした渋滞が頻繁に発生していた。

この対策として、札郷トンネルを含む道路計画を策定し、平成13年度より事業に着手した。

施設の概要

- 施設名：札郷トンネル
- 道路規格：3種4級 設計速度 30km/h
- 施設延長：L=146m
- 内空断面：A=54.5m²
- 幅員構成：W=5.5(9.5)m
- 掘削方法：NATM
- 工事期間：平成15年度～平成16年度
- 工事費：約550百万円



位置図

事業の特徴

札郷トンネルの計画に当たっては、隧道周辺が急峻な地形で迂回路もなく、自然公園区域の指定地、大学の演習林等であることから、環境への影響、発生残土の抑制、コスト縮減等を考慮し、現道を活か

した拡幅工法（活線拡幅）とした。

当工事は、一般車両の交通を確保してのトンネル工事であることから、隧道内に車両防護施設を設置した。



施工状況

車両防護施設については、隧道内に設置可能で、かつ緊急車両が通行可能であることを条件に形状を設定し、掘削時の落石や機械の接触等も考慮した。

また、当路線は幅員狭小であるため大型機械が搬入できないことから、小型機械による断面分割方式により施工を行った。



施工前（札郷隧道）

完成後（札郷トンネル）

おわりに

今回の施工に関しては、掘削、覆工等全ての工程で一般車両を通行させて行ったことから、安全対策には特に注意を払い、無事故で作業を完了することができたことを関係者一同に対してこの場をおかりして、謝意を表する次第である。

また、一車線トンネルであったため、慢性的に渋滞していた当該箇所は、新トンネルの完成により渋滞の解消、交通事故の減少が見込まれ、さらに道路網の機能向上が図られることにより、地域住民の生活、観光及び産業振興に大きく寄与するものと期待される。

賛助会員 飛鳥建設(株)、(株)間組